

1.計画名称

茅野市水道ビジョン(水道事業特別会計)

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	基幹管路の耐震化は、老朽管更新工事と同時に進め、耐震化率は順調に増加している。配水池の耐震化率は、埴原田配水池の供用開始に伴い30%となった。今後もビジョンのとおり計画的に進める。
今後の重点化 施策番号	2	説明	巨大地震の発生確率が高まる中において、水道施設の地震対策は早急に進めなければならない課題となっている。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	安全:安全でおいしい水の供給	おおむね順調	水源地並びに周辺環境整備や水源地の管理を日々実施することが重要。	クリプト対策が必要であるが、高価であるため計画的な対応が必要。	安価な処理方法の模索。
2	強靱:災害に強く強靱でしなやかな水道	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路については、北大塩中区配水池～埴原田配水池への送水管工事、蓼科第一配水池配水系統の配水管工事を実施。 ・基幹配水池については、埴原田配水池築造工事が完了。 	管延長及び老朽管延長が長いこと、全管を整備するには年数が必要であり、今後は法定耐用年数を超える管路が増える傾向にある。	老朽管が今後多くなることが予想されることから、上水道単独工事のみではなく、他事業との計画を整合することで、よりコスト削減を図り事業費をおさえていく必要がある。
3	持続:将来に続く持続可能な事業運営	おおむね順調	継続して一定の利益を確保することができている。また、主要事業である埴原田配水池築造工事が完了した。また、蓼科第6配水池築造工事が着工し、来年度での完成を予定している。	引き続き、財源確保に努めるとともに、水道施設の老朽化や耐用年数等を踏まえて、配水池の更新等、計画的に行う必要がある。	老朽管更新事業の更新延長実績は、昨年度と大きな変化はないが、埴原田配水池築造工事が完了し計画的に事業を進めることができた。
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」